

「中央防波堤外側埋立処分場におけるグリーン水素製造施設の整備プロジェクト」採択について ～東京都の埋立地でグリーン水素製造を目指す～

2025年6月20日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、東京都産業労働局が公募した「中央防波堤外側埋立処分場におけるグリーン水素製造施設の整備プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）に応募し、6月12日、東京都との共同事業者として採択されました。

カーボンニュートラル社会の実現に向けては、再生可能エネルギーの利用拡大が重要となりますが、太陽光や風力など一部の再生可能エネルギーは、発電量が季節や天候に左右され、コントロールが困難という課題があります。

こうした中、水素は長時間にわたり大量のエネルギーを貯蔵可能という特徴があり、再生可能エネルギーの抱える課題を解決する、調整力としての役割が期待されています。さらに、水素はエネルギーとして燃焼する際にCO₂を排出しないほか、再生可能エネルギーなどの脱炭素電源により製造されるグリーン水素は、製造時にもCO₂を排出しない利点があります。

本プロジェクトは、そのような特性を有する水素を活用したプロジェクトであり、当社は東京都と共同で、中央防波堤外側埋立処分場（東京都江東区）における「メガワット級の太陽光発電設備」に併設した「グリーン水素製造設備」の基本設計を行います。

具体的には、山梨県米倉山での実証^{*}をはじめとした太陽光発電及び水素製造事業等の実績を踏まえ、2025年度中に容量1,000kW以上の太陽光発電設備や、100Nm³/h程度の能力を有する水電解水素発生設備、圧縮水素トレーラーや圧縮水素カードルで運搬するための高圧ガス製造設備など、高品質な水素を安定的に製造・供給するために必要となる設備の基本設計を行います。また、原料となる水供給や電力供給及び排水処理のための設備、管理のための事務所や設備を格納する建屋などの設計も行います。

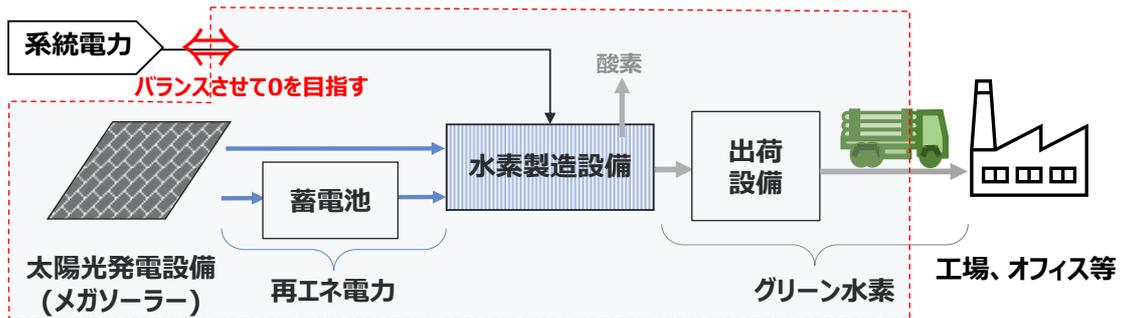
当社は、本プロジェクトを通じて、国内における再生可能エネルギーおよびグリーン水素の更なる普及拡大に取り組み、カーボンニュートラル社会の実現を目指してまいります。

※山梨県、東レ株式会社、株式会社東光高岳および当社による「CO₂フリーの水素エネルギー社会実現に向けたP2Gシステムの技術開発及び実証研究に関する協定」（2016年11月4日締結）に基づき実施

<グリーン水素製造施設のイメージパース>



<スキーム図>



※イメージパース及びスキーム図は事業提案時の計画であり、設計の進捗等により変更が生じる場合がございます。

以上